

## 市税負担の状況など

一般会計予算のうち、市税として収入が見込まれる額は、30億108万円です。この額を今年4月1日現在の住民基本台帳人口(29,079人)で単純に割りますと、市民一人当たりの市税収入見込み額は10万3,210円となります。

一方、歳出予算総額は、159億1,000万円で、単純に市民一人当たりの歳出予算額は54万7,130円となります。その財源として、市税の他、国庫・県支出金、地方交付税、市債、使用料・手数料等の収入を充てます。

(市民一人当たりの額はいずれも10円未満四捨五入)

●市税負担の状況は、以下の表のとおりです。

税目	予算額	市民一人当たり負担額
市民税	12億4,310万6千円	42,750円
市民税のうち個人市民税	10億7,135万円	36,840円
市民税のうち法人市民税	1億7,175万6千円	5,910円
固定資産税	13億1,463万4千円	45,210円
軽自動車税	6,434万円	2,210円
市たばこ税	2億8,260万3千円	9,720円
都市計画税	9,639万7千円	3,320円
合計	30億108万円	103,210円

(市民一人当たり負担額は、10円未満四捨五入)

●市の予算1万円の使い道

市の予算が、どのようなところに、いくら使われているのか、一般会計予算の総額を10,000円に換算した目的別支出金額です。

金額	内容	内訳
2,830円	高齢者・障害者・児童などの福祉の増進、生活保護費に必要な経費です。	民生費
2,430円	広報、企画、庁舎維持管理、電算システムの開発・運用などに必要な経費です。	総務費
1,660円	健康診断やごみ処理等、保健や環境衛生のために必要な経費です。	衛生費
1,440円	市の借金返済のために必要な経費です。	公債費
560円	道路・水路整備・橋や市営住宅の維持管理、都市計画などに必要な経費です。	土木費
530円	学校教育や社会教育などに必要な経費です。	教育費
260円	広域消防組合の運営負担や消防団の活動、災害対策などに必要な経費です。	消防費
110円	議員の報酬など、議会の活動のために必要な経費です。	議会費
100円	商工業や観光の振興などに必要な経費です。	商工費
70円	農業・林業の振興などに必要な経費です。	農林業費
10円	予見できない歳出予算の不足を補うために計上される経費です。	予備費